

親子の海牛 - ショサンベツカイギュウの発見 -

日本で発見された海牛類(ジュゴンやマナティーのなかま)の化石の中ではもっとも北の地から発見された初山別村の海牛化石(ショサンベツカイギュウ)がなんと暖かな海に棲む海牛だった!しかも、世界初の親子の海牛だった!!!というのが今話題のショサンベツカイギュウです。

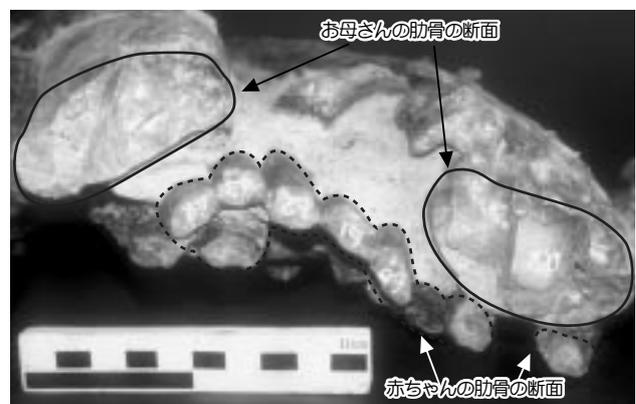
日本からはこれまで30点ほどの海牛類化石が発見されていますが、そのほとんどは冷たい海を好む海牛でした。ところが、今回報告するショサンベツカイギュウは、海牛化石といっしょに発見された小さな化石(珪藻化石、花粉化石)などの分析によって暖かな時代の暖かな海に棲んだ海牛であることがわかりました。

この海牛化石は、大人の骨に混じって小さな子どもの骨が数多く発見されました。小さな骨はお腹の中にいた赤ちゃん(胎児)の骨で、大人の骨はそのお母さんのものです。なぜ、胎児とわかったのかというと、小さな骨もお母さんと同じ海牛の特徴を持っていること、そして、お母さんのお腹の位置(腰の背骨とあばら骨の間)で発見されたことから判断しました。

ここで、いつ・どこから・なぜ?という疑問がわき上がりますね。時代を示す化石(珪藻化石)と時間を刻みこんだ岩石の調査(フィッシュントラック法)によると、ショサンベツカイギュウが生きていた時代は今からおよそ1100万年前ということがわかりました。また、ショサンベツカイギュウの頭の特徴からアメリカで発見される海牛化石よりヨーロッパで発見される海牛に近いことがわかりました。

ヨーロッパから暖かな海を伝わって日本にやってくるにはインド洋を通り、南シナ海を経て北海道までやってくるのが自然なのではないかと考えています。どうして?という質問には、当時北海道周辺もショサンベツカイギュウたちが棲みやすい暖かな環境だったということになるだろうと思います。

北海道で発見される化石から、暖かな時代の生物と寒い時代の生物がそれぞれ南から北からやってきていたということが少しずつわかり始めています。



【クリーニング前の海牛化石】
化石は1967年に発見され、その後初山別村豊岬小学校理科準備室に長い間保管されていました。(スケール10cm)



【海牛化石(胎児)全容】
化石が研究者の目に触れたのは、発見から22年後のことでした。理科室の岩の中から新発見が生まれるとは誰も想像していないことでした。(スケール10cm)

家のそばの生き物たちもよく見てみれば…



感動いっぱい!

タンポポを知りつくす! 5月24日 開催

体験学習会の翌日、こんな感想をお寄せ頂きました。学芸員も感激!! これからも身近な植物をテーマに観察会をしていきたいと考えています。

先日は娘を活動に参加させていただきありがとうございました。

「タンポポ」という学校へ通っている途中でも見られる花から不思議と発見を体験することができ本人も大満足して帰ってきました。

身近なものから不思議を見つけることって本当はとても大切なことだと私も思っております。近々、娘と共に散歩がてら「たんぽぽ」についての話で盛りあがることまちがいないです。何かの機会にまた貴センターでお世話になることと思いますがその際はよろしくおねがいします。



札幌市手稲区
南部 美幸さんのお母さんより



化石採取会 空知川にて6月21日 開催

化石採取会(6/21)は天気もよく、参加者全員がタカハシホタテを発掘することができました。夏休みも化石探しに行ってみよう!

水生昆虫観察会 小樽内川にて6月22日 開催

水生昆虫だけでなく、こんな生き物も観察できました。

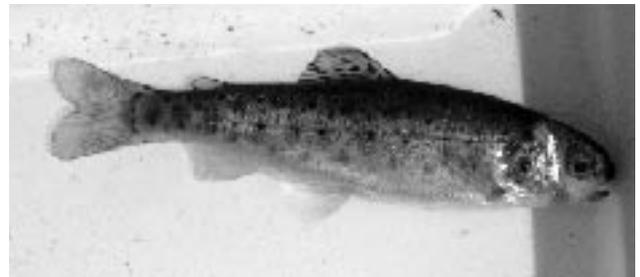
●魚の種類は写真から判断しました。同定協力：札幌市豊平川さけ科学館



▲スナヤツメ



▲カジカ的一种



▲ニジマス(外来種)

夏休み、本を片手に「夢」をみつけにでかけよう!!

本紹介

『北海道 化石が語るアンモナイト』 早川浩司 著

(北海道新聞社・2003年刊 2800円+税)

早川浩司さんは日本を代表する若手アンモナイト研究者です。この本は、早川さんの調査研究の成果や最新の情報を初心者からプロまで楽しく、分かりやすく読むことのできる入門書として書かれたものです。いたる所に早川さんのアンモナイトへの熱い思いと太古の世界のわくわくする魅力がちりばめられ、あっという間に読み終えてしまう本です。無類のフィールドワーカーらしく、野外調査の方法を具体的にアドバイスしながら、自然に対する優しい心づかいやマナーもきちんと教えてくれる所にも早川さんらしい優しさが感じられます。アンモナイトはもちろん、野外で心ひかれた虫や草花のカラー写真もたくさんちりばめられ、早川さん自身の手によるイラストも美しいすてきな本です。北海道の化石を愛するひとたちの参考書、入門書としてぜひ多くの皆さんに読んで頂きたい一冊です。



さっぽろ水草採物帳

博物館で行っている水草調査の中から、札幌市内の水辺でみられる植物を毎号1~2種紹介します。

② 竿のように、しなやかに、強く…

中国名「水葱」。下の写真を見ると納得していただけると思いますが、「水の中の葱」とはよくいったものです。和名で「フトイ」といい、まっすぐに水面から突き出て生える様は思わずこちらが背筋をただしてしまうくらいです。茎は1~2mになり、人間の大人の背丈をゆうに超すほどです。しなやかなのである程度の力には耐えられますが、ふつうは流れのゆるやかな川辺や、水の動きの少ない湖沼の岸辺にまとまって生えます。ときどき川や池の真ん中にポツと生え、ある範囲を往復して調査するようなときに「あ、さっき見たフトイのある場所に戻ってきたな。」と目印に使ったりしています。

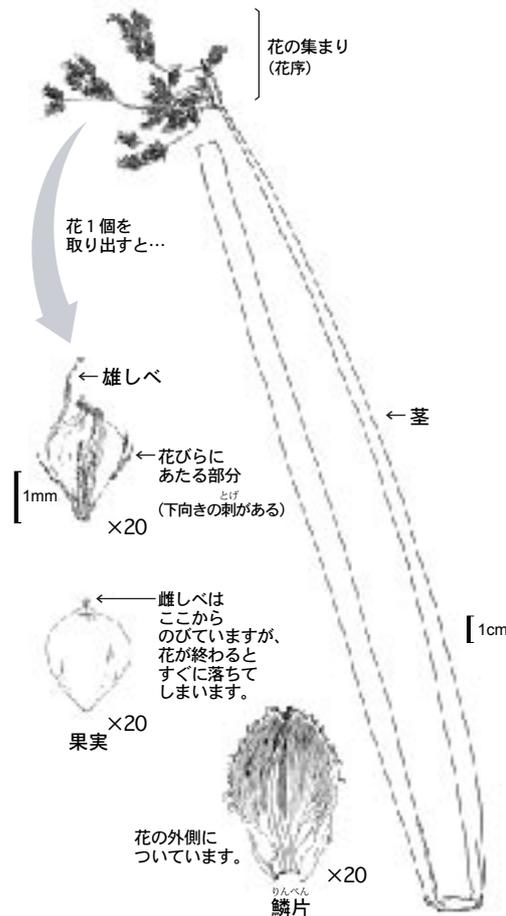
フトイの玉にキズ(?)なところは、根元から採集すると長すぎて”規格外”の大きさになってしまうことです。普通は花のついている上の部分を採集してよしとするのですが、それでも新聞紙にはさむときに二つ折り、三つ折りになってしまいます(右スケッチ)。



池の中央付近に生えるフトイ。江別市野幌森林公園原の池にて。(2001年8月11日撮影)

フトイ:
2002年8月7日旧豊平川(札幌市東米里)にて採集。茎の断面は○まるですが、ネギのようにストロー状ではなく、スポンジ状の組織があります。(スケッチは押し葉にしたため、平くなっています)

スケッチ:山崎 真実



自然のふしぎにチャレンジ! 自然探求サポート事業 募集

きみがふだん感じている自然のなぞや不思議は何? プロの研究者のサポートで謎解きに挑戦してみませんか? 参加者にはオリジナルTシャツと、調査に必要な道具をプレゼントします。



- 応募状況、審査結果は博物館活動センターおよびホームページ、ミュージアム等で公開します。
- 詳細については博物館活動センターまでお問い合わせください。
- 調査にかかる交通費は実費を負担していただくことになります。

対象: 市内の小中学校に通学する小学4年生~中学生の個人またはグループ(1テーマにつき10名まで)
テーマ募集分野: 地質・化石、植物、環境の3分野
応募方法: 自然に関して感じている疑問の内容・代表者の氏名・学年・住所・連絡先・FAX番号と、グループ全員の氏名・学年を記入して、郵送またはFAXでお送りください。
 メールでも申込できます museum@city.sapporo.jp
審査方法:
 応募のあった中から審査をおこない、最大3件を選考します。
審査員:
 博物館活動センター、サポートする研究者、ミュージアムサロン
応募締切り: 7月25日(金) 必着
審査結果発表: 7月31日(木)
調査期間: 8月~10月(外にででの調査も行います。)
成果まとめ期間: 11~12月
成果発表(展示): 2004年1月中旬~2月(予定)

講座・体験学習会・企画展のお知らせ

① 博物館体験学習会 昆虫採集会 定山溪百松沢

日時 7月26日(土)午前9時～午後3時

会場 定山溪百松沢林道

対象 小学4～6年生(保護者同伴)

定員・費用 40名・1,000円(標本箱代)

講師 札幌自然史研究会

※ 採集した昆虫を標本にするところまで作業します。
標本は持ち帰ることができます。標本箱代は一箱につき1,000円です。



② 博物館体験学習会 化石採取会 沼田町 幌新太刀別川

日時 8月9日(土)午前8時30分～午後4時

会場 沼田町幌新太刀別川 *雨天時の行程は参加者に事前に連絡します。

対象 小学4～6年生(保護者同伴)

定員・費用 40名・500円(文化財保存管理費)

講師 古沢 仁(札幌市博物館活動センター学芸員)

※ 幌新太刀別川は沼田町の天然記念物にもなっている「化石の宝庫」。
化石を自分で見つけて発掘、クリーニング、保存強化までの一連の作業を体験します。

【申し込み方法】

参加する行事名・参加する方全員の氏名・住所・年齢・電話番号・FAX番号を明記し、それぞれ①7月17日(木)、②7月30日(水)、(①②とも必着)までに博物館活動センターへハガキまたはファクス、Eメールmuseum@city.sapporo.jpにて申込。
ホームページ<http://www.city.sapporo.jp/museum/>からも申し込みできます。いずれも多数時抽選。

第9回 iミュージアム企画展 水草の浮いてる生活

開催期間：平成15年7月19日(土)～8月30日(土)

会場：iミュージアム・ギャラリー(博物館活動センター5階)

主催：札幌市博物館活動センター

協力：持田 誠(北海道大学大学院農学研究科植物体系学分野)、上村 純平(酪農学園大学獣医学部)



7月25日(金) 開館時間延長 * 夜9時まで!!

仕事帰り、また家族や友達を誘って、化石に触れに来てみませんか?

★化石クリーニング(貝化石、有孔虫化石)

17:00～21:00(受付20時まで) 随時受付

★開館時間延長はカルチャーナイト(北海道庁主催) 参画にともない行われるものです。

カルチャーナイトホームページ <http://www11.ocn.ne.jp/~cn03725/toppage.htm>

編集後記

来館者数 **16,305**人(2003年6月末現在)

私の机の前には大きな窓があり、最近夕方の方の空と雲の色や形を眺めるのが楽しみです。空の様子や雲の形、気温を観察して、これからの気象状況も読みとる「観天望気」。答えは明日の天気を見るまでわからない、「なぞなぞ」に似たおもしろさがあります。賑やかなビアガーデンもさることながら、刻一刻と移り変わる昼と夜の狭間の空を眺めるのも、夏の夕涼みによいのではないのでしょうか。(ま)



さっぽろ市
03-F09-03-379
15-3-96